

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年8月17日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年8月17日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日	備考
1	<p>【増設多核種除去設備のHIC※液位スイッチ回路の不良について】 当直員が増設多核種除去設備建屋内の設備パトロールにてHIC制御盤に吸着塔樹脂受入れ用HICの「液位高」警報発生を確認。 現場調査を行い以下を確認。 ・HIC内部の結露なし、HICへの系統水等の流入、およびHIC内の水位上昇無し。 ・液位スイッチ信号用ケーブルの外被に芯線の絶縁被覆まで届く亀裂を確認。 ・正常なケーブルと一時的に入替えたところ、「液位高」警報が復帰。 以上のことから、原因は液位スイッチ信号用ケーブルの芯線間での接触による短絡と推定。 今後、当該ケーブルを交換予定。</p> <p>※HIC:高性能容器</p>	GⅢ	8月8日	訂正 2020.8.27 導通不良 → 芯線間での接 触による短絡